

恩恵尊敬語表現に関する韓日対照研究

—韓国語の「주시다」と日本語の「くださる」を対象に—

金 兌妍(西南学院大学)

1. はじめに

本研究では韓国語と日本語の恩恵尊敬語表現について論じる。本研究での恩恵尊敬語表現とは、「上位者がものをくださる」「上位者がしてくださる」のように、話し手が上位者からのものや行動を恩恵として受ける尊敬語表現である。韓国語では「주시다」、日本語では「くださる」に当たる。辻村(1977:66)は『お与えになる』、『お寄りになる』と『下さる』、『お寄り下さる』は同じ与える行為・寄る行為でも敬語表現として性質を異にする」と指摘し、「同じく尊敬表現でも、後者の方がより丁寧な印象を与え」、「話し手は、実際には為手の行動が自己に恩恵を与えることのない客観的なものであってもあたかも恩恵を与えてくれる動作であるかのごとくいいなし、それがより敬語的な表現として成立する」と述べた。本研究では韓国語の「주시다」と日本語の「くださる」を恩恵尊敬語表現として捉え、尊敬語を用いる場面で恩恵がいかにか表現されているかを分析する。

2. 先行研究

従来の研究では「주시다」と「くださる」を授受表現の1つとして扱い、その異同について述べられてきた。林八龍(1980)は日本語と韓国語の授受表現を比較し、以下の4点を明らかにした。①授受表現の形式について、日本語では「やる」「くれる」「もらう」という3つの表現があるが、韓国語では「주다(やる, くれる)」「받다(もらう)」の2つの表現がある。そのため、日本語では「太郎が次郎に物をやる」「太郎が次郎に物をくれる」のように「話し手の立つ側」や「話し手の関与」が表現できるが、韓国語では「太郎가 次郎에게 물건을 주다」としか表現できず、話し手の視点を置くことができない。②授受動詞の待遇表現について、日本語では「さしあげる」「くださる」「いただく」があるが、韓国語では「드리다(さしあげる)」「주시다(くださる)」のみがあり、「いただく」に対応する表現はない。③授受動詞の補助動詞について、両言語ともに日本語では「-てやる」「-てくれる」「-てもらう」と表現できるが、韓国語では「-어[아]주다(-てやる, -てくれる)」のみがあり、「-어[아]받다(-てもらう)」も表現は存在するが使われない。④日本語では話し手と無関係で授受動詞がなくても意味として上変がない時や話し手の主観によって上位者があたかも「自己のために」行動したことのように授受動詞を用いると言われ、韓国語でも同じく適用される。

奥津(1983)では、日本語と朝鮮語の授受動詞の違いを明らかにした。①形式の面で日本語は七語体系(くれる, くださる, やる, あげる, さしあげる, もらう, いただく)であるが朝鮮語は三語体系(주다(くれる, やる, あげる), 드리다(さしあげる), 받다(もらう, いただく))である。ただし、韓国語では、三語体系に尊敬語接尾辞を入れることで日本語の授受動詞のほとんどをカバーできる。②朝鮮語では「おさしあげになる」「おもらいになる」と表現できるのに対し、日本語では非文になる。③日本語では身内かヨソかによって使う授受動詞の形式が異なるが、朝鮮語では区別しない、また朝鮮語では「父」に対しても尊敬語を使うが日本語では使わない。

朴錦女(2014)は小説を分析資料として日本語と韓国語の授受表現の全般がいかに対応するかを調査した。①日本語の「くださる」は、「てください」が「てくださる」より多かった。②「てください」について、韓国語では依頼の意味が強い場合には「-어(아)주세요(てください)」に訳され、単なる指示・命令・或いは勧誘の意味が強い場合には「-어(아)요(てください)」に訳された。③「てくださる」について、韓国語では尊敬語なしの「-어(아)주다(てくれる)」に訳されることが多かった。④韓国語では「-어(아)주시다」が「주시다」より多かった。⑤「-어(아)주시다」について、約44%が日本語に対応したが、「てくれる」「てあげる」「てもらう」「ていただく」などにも訳され、その原因には視点の制約があると解釈された。

以上の3つの先行研究から、主に、①日本語では韓国語より授受表現の形式が豊富であること、②日本語では話し手の視点が表現されること、③恩恵の事実がないところにも恩恵表現が用いられることが指摘された。本研究では「주시다」と「くださる」との対応状況を調べ、韓国語と日本語で「敬語」や「恩恵」がいかにか扱われているかについて述べる。

3. 分析方法

分析資料として現代文学作品の原作とその翻訳本を選択した。原作が韓国語の作品5冊とその日本語翻訳本5冊、原作が日本語の作品5冊とその韓国語翻訳本5冊、計20冊を選び、作品内の会話文を調査対象とし、韓国語「주시다」と日本語「くださる」を抽出し量的及び質的に対照分析した。

なお、本研究では恩恵尊敬語表現を2つに分類して分析を行う。上位者に恩恵を要請する文末の「ください」と、上位者からの恩恵を認識する「くださって」「くださった」などである。それぞれ、恩恵要請の「주세요¹⁾」と恩恵要請の「ください」、恩恵認識の「주시다」と恩恵認識の「くださる」と呼び、論を進めることにする。

4. 分析結果

4.1 韓国語の恩恵尊敬語表現

韓国語の恩恵尊敬表現「くださる」は、合計49箇所抽出された。表1のように、恩恵要請の「주세요」は20箇所、恩恵認識の「주시다」は29箇所である。韓国語では恩恵要請の「주세요」より恩恵認識の「주시다」が若干多い。また、ものより行動に対する表現が多かった。

表1 韓国語の恩恵要請の「주시다」と恩恵認識の「주시다」

| | | |
|------------|-----------|-----------|
| 恩恵要請の「주세요」 | 20箇所(41%) | もの：1行動：19 |
| 恩恵認識の「주시다」 | 29箇所(59%) | もの：5行動：24 |

4.2 韓国語の恩恵尊敬表現に対する日本語

恩恵要請の「주세요」と恩恵認識の「주시다」の順に、分析結果を述べる。

4.2.1 韓国語の恩恵要請の「주세요」

韓国語の恩恵要請「주세요」の20箇所のうち、16箇所が恩恵要請の「くださる」に訳され、対応した。残りの4箇所は非恩恵・非敬語表現に訳された。(학생들한테는 수업이 아닐 때도 되도록 영어로 해 주세요. 生徒たちには、授業時間以外もできるだけ英語で話してやってください。)なお、2箇所は省略によるもの、もう2箇所は表現を変えたことが原因である。

4.2.2 韓国語の恩恵認識の「주시다」

韓国語の恩恵認識「주시다」の29箇所のうち、日本語訳でも恩恵認識「くださる」と訳されたのは7箇所のみで、直訳的に訳されていた。

① **恩恵・敬語表現に訳されたものは14箇所**で、①-1「くださる」が7箇所ある。(사랑해 주셔서 감사합니다. 愛してくださってありがとうございます。)①-2「いただく」が7箇所である。例文を確認すると、韓国語を直訳し「くださる」と訳しても問題ないようなところに、あえて視点を換え「いただく」に訳された。(알려주셔서 고맙네요. あー、はいはい。教えていただいてありがたいんですけどね。)

② **非恩恵・敬語表現に訳されたものは2箇所**で、②-1尊敬語表現が1箇所(잘 봐 주신 거예요. 買い被っていらっしやいますよ。)②-2美化語表現が1箇所だった。(걱정해 주셔서 감사합니다만, 저희도 생각보다는 괜찮습니다. ご心配嬉しく思いますが、僕のところも思ったより大丈夫ですよ。)

③ **恩恵・非敬語表現に訳されたものは7箇所**で、③-1「くれる」は5箇所ある。翻訳で敬語表現が消された箇所には、韓日の敬語の違いが作用した。(1)家族や親しい関係、(2)第三者に対する敬語使用の違い、(3)重複の回避である。(엄마가 비슷한 얘길 자주 해 주셨어요. お母さんが同じような話をよくしてくれました。)③-2「もらう」は2箇所である。この2箇所ではともに「もらえる」が用いられた。(좀 설명하기 힘들데 그래도 들어 주시겠어요? 説明するのがちょっと難しいんですけど、それで聞いてもらえますか?)

④ **非恩恵・非敬語表現に訳されたものは7箇所**ある。原因は5つ考えられる。(1)重複の回避、(2)主語を話し手に変更、(3)第三者敬語の違い、(4)韓国語の「주시다」が「おあげになる」として表現された、(5)韓国語の動詞表現が日本語では名詞表現になった。なお、(2)主語を話し手に変更した理由として、内容的に相手に失礼になる可能性がある場合に日

¹⁾ 「주십시오」「주시오」「주시기 바랍니다」「주시고요」「주시죠」などを含む。

本語では「てほしい」が用いられた。(그 소리를 안 내 주셨으면 좋겠네요 その音を出すのをやめてほしいです.)

4.3 日本語の恩恵尊敬表現

日本語の恩恵尊敬表現「くださる」は全部で156箇所ある。韓国語の恩恵尊敬表現の3倍以上の量である。表2のように、149箇所が恩恵要請の「ください」で、恩恵認識の「くださる」は13箇所と少ない。日本語で「くださる」は、主に恩恵要請のために用いられると言える。また、日本語でも韓国語のように、ものより行動に対する表現が多い。

表2 日本語の恩恵要請の「くださる」と恩恵認識の「くださる」

| 恩恵要請の「くださる」 | 149箇所 | もの:3行動:146 |
|-------------|-------|------------|
| 恩恵認識の「くださる」 | 13箇所 | もの:0行動:13 |

4.4 日本語の恩恵尊敬表現に対する韓国語

恩恵要請の「ください」と恩恵認識の「くださる」の順に分析結果を述べる。

4.4.1 日本語の恩恵要請の「ください」

日本語で恩恵要請の「ください」は149箇所である。韓国語訳では、約半数弱の65箇所が対応した。

- ① **恩恵・敬語表現に訳されたものは67箇所**で、①-1 対応する表現の恩恵要請「주세요」に訳されたのは65箇所、そのほとんどが直訳的に訳された。この場合、韓国語では「주세요」「주십시오」「주시오」「주시기 바랍니다」「주시고요」「주시죠」と、多様な文末表現が用いられた。(どこまで中止に傾いているのか、交渉の余地はないのか情報を集めてください. 어느 정도 중지 쪽으로 기울었는지 교섭의 여지는 없는 지 정보를 모아 주세요.)①-2 恩恵・謙讓表現「드리다(さしあげる)」に訳されたのは2箇所である。日本語で上位者に対する恩恵要請「くださる」が、韓国語で上位者への恩恵提供の「드리다」に訳された表現である。例えば、日本語「質問させてください」「ご了承ください」が、韓国語で「질문을 좀 드리겠습니다」「양해 부탁드립니다」と訳された。近年、日本語では「させていただく」という表現が頻繁に用いられ、話し手の聞き手に対する丁寧な態度が現すために用いられていると指摘される(椎名 2021)が、韓国語では「드리다(さしあげる)」が同様の役割をしている可能性がある。日本語の表現を韓国語に直訳した「질문하게 해 주세요.(質問させてください。)」は、その行動が話し手の切実なお願いに聞こえ、強く希望することをアピールするだけで、丁寧な印象を与えることはない。(ただ、いくつかわからないことがあるので、裁判の話になる前に、私から質問させてください. 하지만 몇가지 이해가 안가는 부분이 있으니 재판이야기를 하기 전에 질문을 좀 드리겠습니다.)
- ② **非恩恵・敬語表現に訳されたものは48箇所**である。韓国語では、話し手側のためになるような「恩恵がある」場合は恩恵表現が用いられたが、ためにならないような「恩恵がない」場合は非恩恵・尊敬語表現である「-(으)세요(してください:尊敬語のみの指示表現)」が選択された。(今日はもう帰って、ゆっくり休んでください. 오늘은 그만 돌아가서 꼭 쉬세요.)
- ③ **恩恵・非敬語表現に訳されたものは、なかった。**
- ④ **非恩恵・非敬語表現になったものは34箇所**で、その原因は韓国語では話し手を主語にする表現に訳されたからである。この場合、日本語の恩恵要請の「ください」は韓国語では相手に「恩恵がない」とされ、「要請する必要性」がなくなったと見受けられる。こ韓国語では、話し手が、一人称の「해요(しましょう)」のような勧誘表現, 싶습니다(したいです)のような希望の表現になった。日本語では、上位者を恩恵を与える側として示す恩恵要請の表現が話し手の丁寧な態度を表すのに対し、韓国語では、「恩恵があるかないか」「要請する必要があるかどうか」が重視された結果であると推測できる。(仲良くしてください. 친하게 지내고 싶습니다.)さらに、日本語の定型表現「させていただきます」は、韓国語では話し手が一人称の「-겠습니다, 합니다(します)」「-라 믿습니다(と信じています)」「-는(은)데요(-なのですが)」などに訳された。日本語の「させていただきます」は相手に許可を求める形で相手を関与させるが、韓国語では相手の許可が必要ないと判断された。(助けが必要な時は相談させてください. 도움이 필요하면 상담하겠습니다.)「させていただきます」の日韓訳からは、日本語では上位者を恩恵を与える側にし、上位者に許可権があるように表現することが話し手の上位者に対する丁寧さを表せる効果があると推測できる。一方の韓国語では、恩恵がなく、上位者に要請する必要もない場合、一人称を主語とした非恩恵・非敬語表現になり、そのうち話し手の意志が弱い場合は「したい」「しましょう」のような話し手側の勧誘や願望として表現し、話し手の意志が強い場合は「します」のように話し手の意志表明として表現する。③-3 日本語では「ちょっと待ってください。」は11箇所もあり、韓国語では「잠깐만요(直訳:ちょっとだけです)」と訳された。

4.4.2 日本語の恩恵認識の「くださる」

日本語の恩恵認識の「くださる」は全部で13箇所である。

- ① **恩恵・尊敬表現に訳されたものは9箇所**で、韓国語でも同じく恩恵認識の「주시다」に訳され、ほとんどが直訳的のように訳された。(いろいろ気遣ってくださって, ありがとうございます. 여러모로 신경 써 주셔서 감사했습니다.)
- ② **非恩恵・敬語表現に訳されたものは1箇所**だった。これは、恩恵がないと判断されて尊敬表現のみに訳された。韓国語では、恩恵がない場合には、恩恵表現を用いない。(こんなふうにメモが台無しになるまで、奮闘して下さったんじゃないありませんか. 이렇게 메모지가 엉망이 될 만큼 애쓰셨는걸요.)
- ③ **恩恵・非敬語表現に訳されたものは2箇所**あった。原因として、第三者敬語の違いが考えられる。翻訳者が目の前の上司に気を遣って第三者に敬語を用いないほうが良いと判断したと解釈できる。(そうすると西岡さんはいつも飲みを誘ってくださいます. 그러면 니시오카씨는 늘 술집에 데려가 주었어요.)
- ④ **非恩恵・非敬語表現になったものは2箇所**である。韓国語では、部下は尊敬語の対象ではなく、恩恵がないと判断され、非恩恵・非敬語表現になった。(ゆっくりしてくださっていいですよ. 천천히 해도 됩니다.)

5. まとめ

量的分析の結果、3点が明らかになった。(1)日本語「くださる」は韓国語「주시다」より使用率が約3倍以上高い。(2)韓国語では恩恵認識「주시다」が全体の60%、日本語では恩恵要請「ください」が全体の92%を占めている。(3)韓国語では恩恵要請と恩恵認識の両方の時、日本語では恩恵要請の時に、恩恵尊敬語表現をよく用いる。

質的分析の結果、3点が明らかになった。(1)日本語では恩恵謙讓語表現「いただく」が好まれる。韓国語の恩恵認識「주시다」は日本語の恩恵認識「くださる」へ直訳することも可能だが、視点を変えた「いただく」へとあえて変えられている。恩恵表現「くださる」と「いただく」のどちらでもよい場合には「くださる」より「いただく」のほうが好まれるという指摘(佐竹2000, 金澤2007)があるが、同じ現象が本研究の分析結果でも見られた。(2)韓国語では恩恵の対象の有無が重要である。日本語の「お(ご)～になる、～(ら)れる」の尊敬語の形式には命令形は存在せず、「ください」がその命令形の役割を果たしている(辻村1977)。一方、韓国語では日本語の「ください」を要請と命令の意味で区別して表現する。恩恵の対象がないと判断される場合、「-시다(お(ご)～になる、～(ら)れる)」の命令形「-세요(恩恵なしの尊敬語)」が用いられる。(3)日本語の恩恵要請の「ください」や「させてください」は話者側の行動について目上に許可を要請する表現だが、韓国語では「恩恵がない」、そして「恩恵を要請する必要がない」と判断された場合、その多くが1人称の意志表現に訳される。話し手の意志が弱いと判断された場合は「-죠, -요(しましょう)」「싶습니다(したいです)」のような勧誘や希望で、話し手の意志が強い場合は「-겠습니다, 합니다(します)」「입니다(です)」「-なんです(가-는(은)데요)」「-ㄱ/을게요((私が)-ますね)」のように自分の行動を叙述する表現で訳された。日本語では話し手が自分の行動に対して上位者に許可権を持たせて要請する「させてください」は目下側の丁寧な態度を表せるが、韓国語の直訳「-게 해 주세요 (-せてください)」は目上に対する丁寧な態度を表す効果はほぼなく、その要請が切実であることをアピールするために用いられる。(御社の技術でうちのロケットを飛ばさせてください. 귀사의 기술로 저희 로켓을 발사할 수 있게 부디 도와주십시오.)

今後は恩恵謙讓語表現「드리다(さしあげる)」と「さしあげる」「いただく」についても分析し、韓国語と日本語の恩恵表現の特徴を総合的に分析する。

参考文献

- 林八龍(1980). 日本語・韓国語の授受表現の対照研究 日本語教育 日本語教育学会, 40, 113-120
金澤裕之(2007). 「～てくださる」と「～ていただく」について 日本語の研究 日本語学会, 3(2), 47-53
奥津敬一郎(1983). 授受表現の対照研究-日・韓・中・英の比較 日本語学 明治書院, 2(4), 22-30
朴錦女(2014). 日本語と韓国語の授受表現に関する対照研究-小説における授受表現の用例についての考察を中心に-首都大学東京人文科学研究科 日本語教育学教室 博士学位論文
佐竹秀雄(2000). サタケさんの日本語教室 角川文庫
椎名美智(2021). 「させていただく」の語用論-人はなぜ使いたくなるのか ひつじ書房
辻村敏樹(1977). 日本語の敬語の構造と特色 岩波講座日本語4 敬語, 47-94